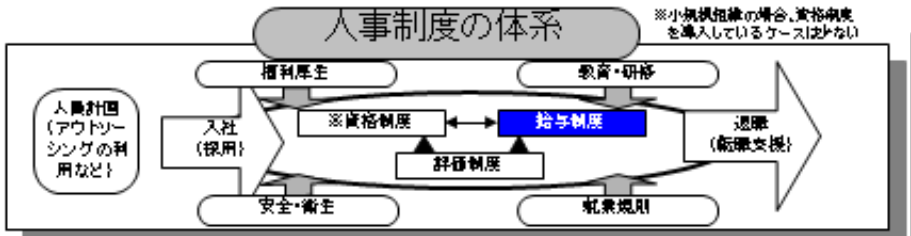
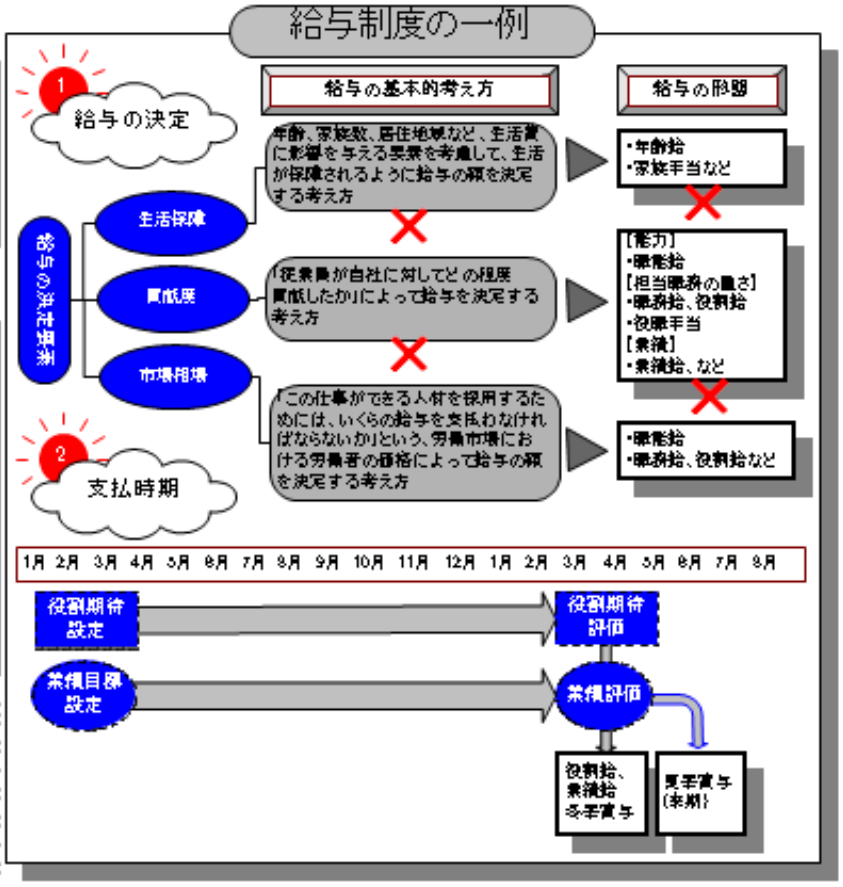
給与制度



給与制度とは何か

給与制度とは	給与制度とは、上図に示した人事制度の体系における最もコアな制度（資格制度、給与制度、評価制度）の一つであり、従業員に対して支給する**給与の決定方法**や**支給時期**などを定めた制度である。主に毎月支給する月例給与と年に2～3回支給される賞与に関することが定められている。
広義の給与と狭義の給与	労働基準法にしたがって給与を広義に解釈すると、福利厚生費の一部や退職金も給与制度の中に含まれる。ただし、会社の中で給与制度をいう場合には、給与を狭義の意味で用いることが多く、金銭で支給されるものの中の月例給与や賞与について定めた制度を指すのが一般的である。
賃金と給与	給与制度は賃金制度とも言われる。法律および労働組合では「賃金」という言葉が使われてきたため、専門書や公の文書、就業規則などでは「賃金」が多く用いられてきた。しかし、最近では給与、給与制度という言葉を用いる場合も増えている。また、別の見方をすれば、「賃金」という言葉は一般的に製造業で用いられることが多く、「給与」はサービス業で使われる傾向がある。